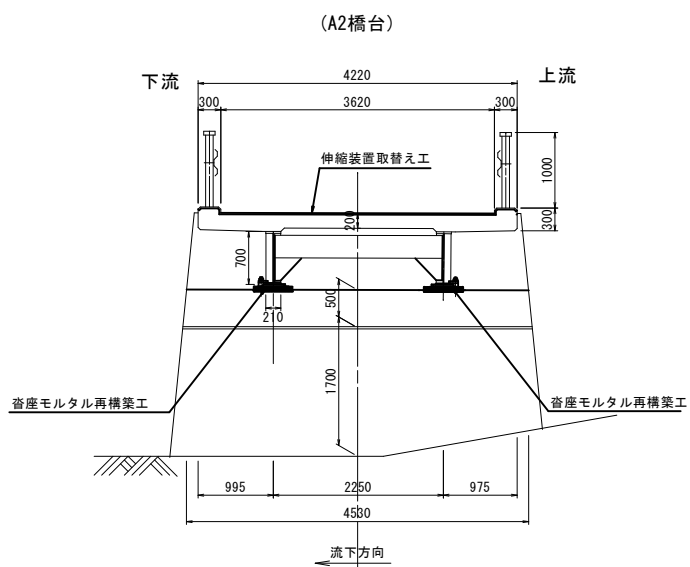
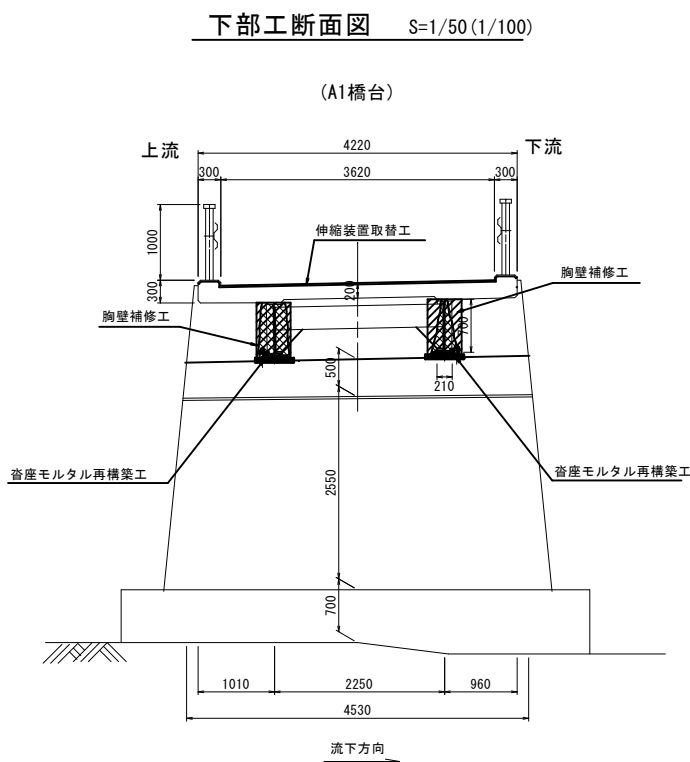
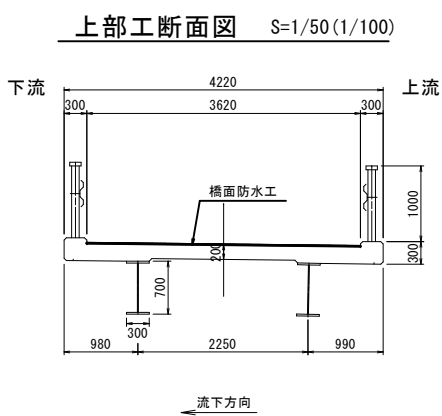
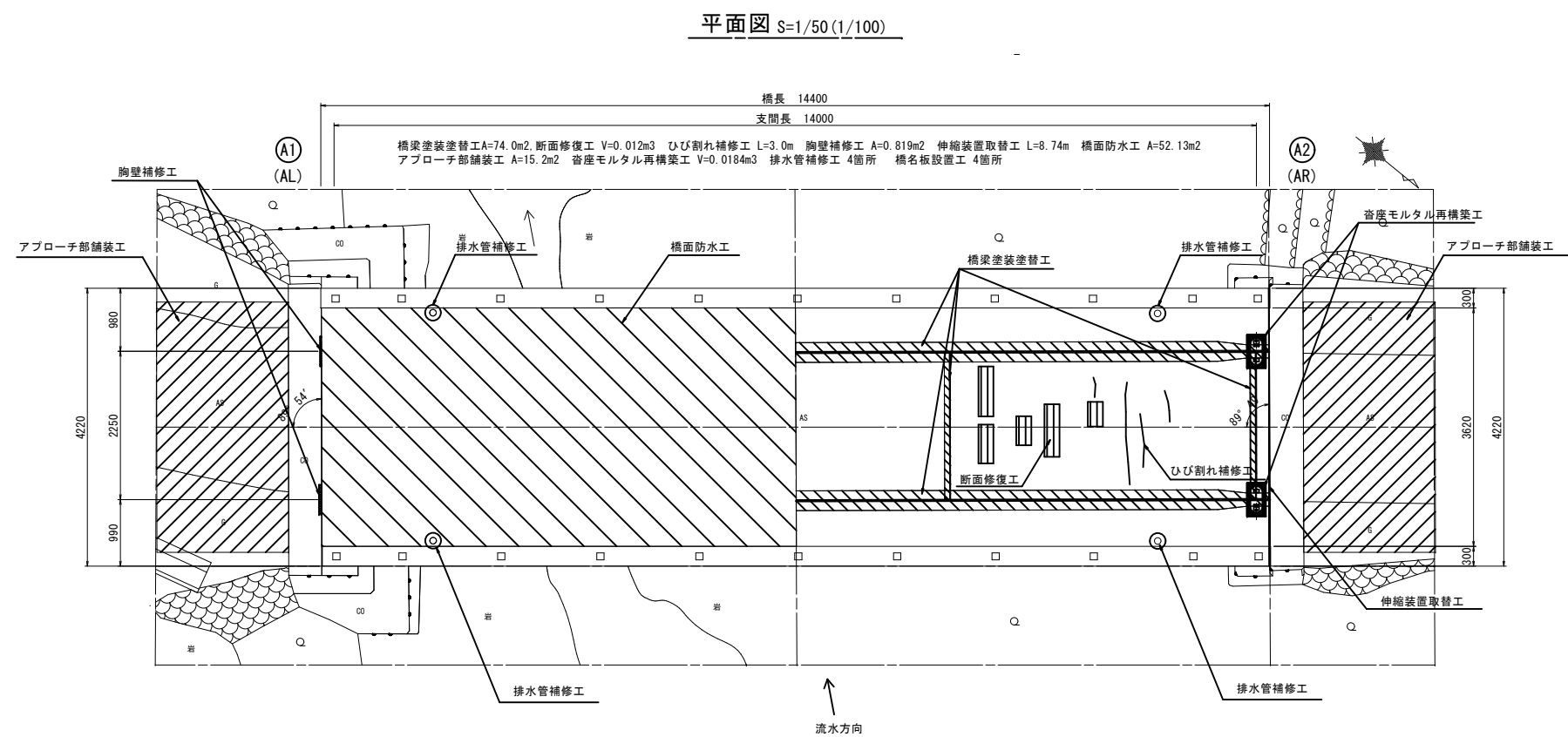
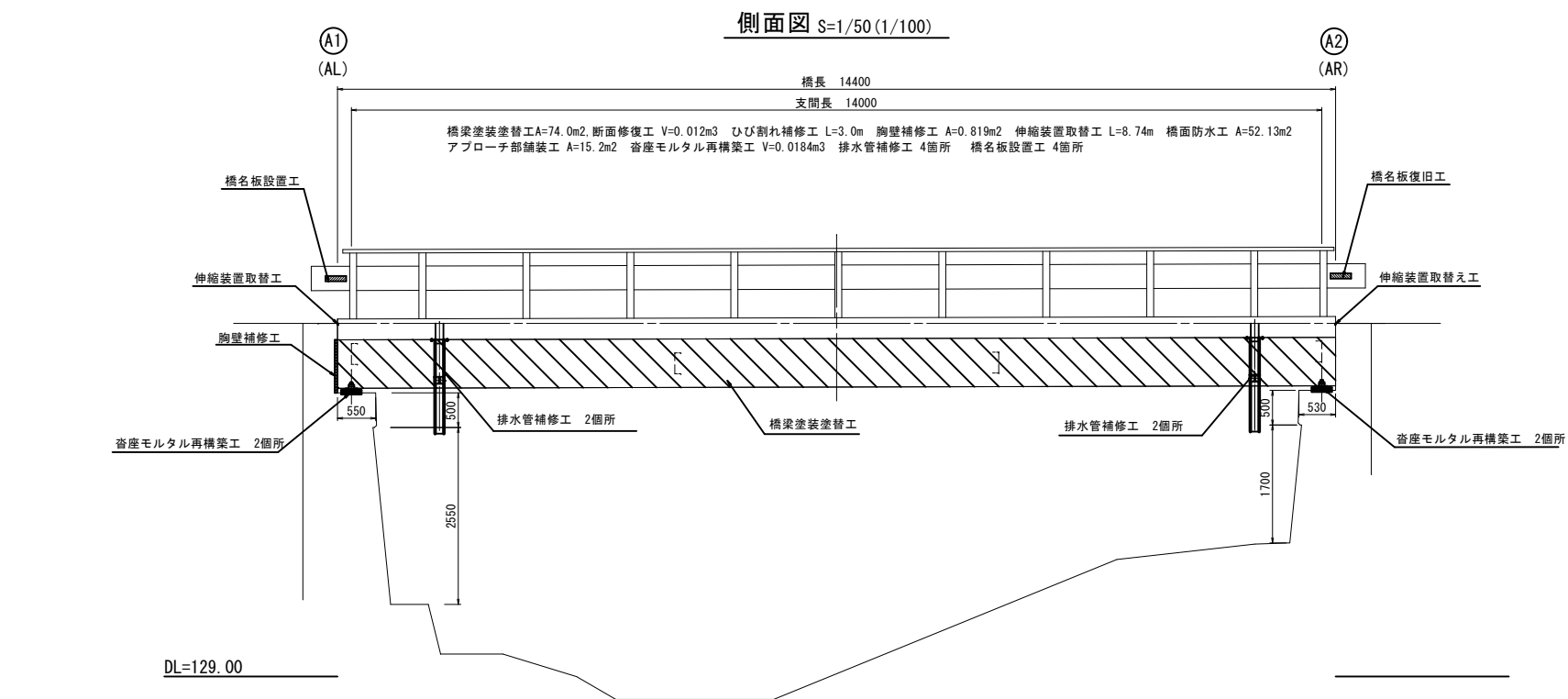


金石橋 橋梁補修全体一般図



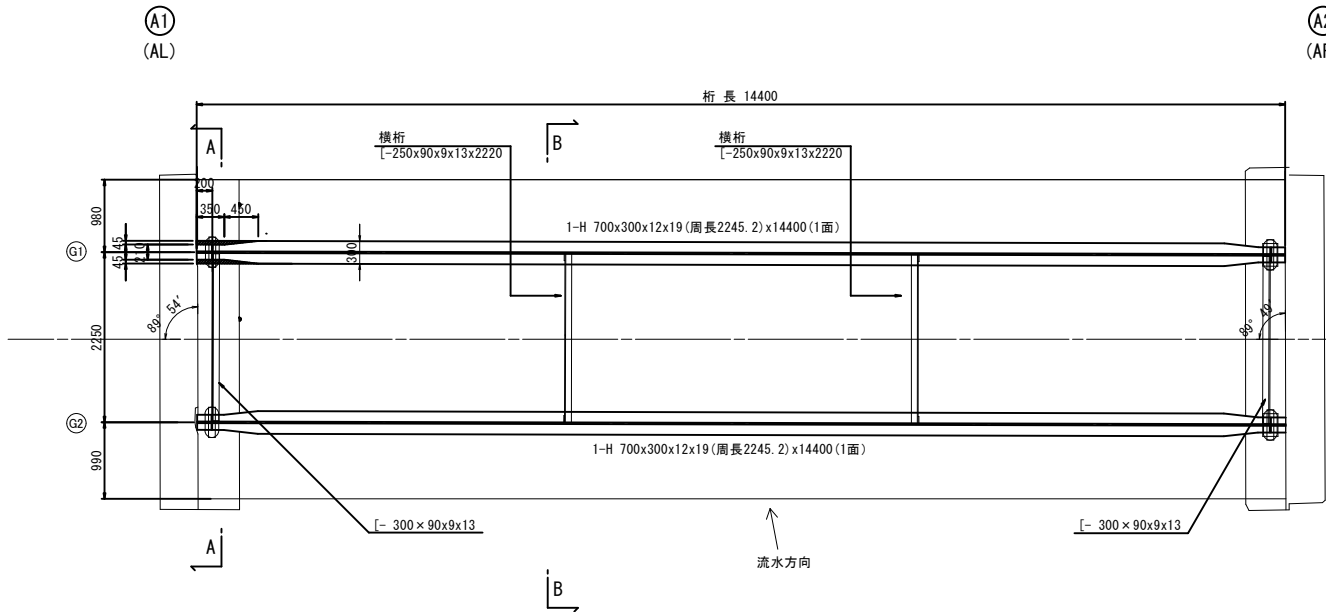
設計条件

道路区分	市町村林道
重要度区分	—
活荷重	TL-14 (昭和31年)
地域区分	地方部
地域種別	山間部
橋長	14.40m
桁長	—
幅員構成	全幅員 4.22m 有効幅員 3.62m
斜角	AL側 89° 54' , AR側 89° 49'
上部工形式	鋼単純合成H桁橋
下部工形式	橋台 重力式擁壁
工支持地盤	—
適用基準書	1964年 (昭和39年)

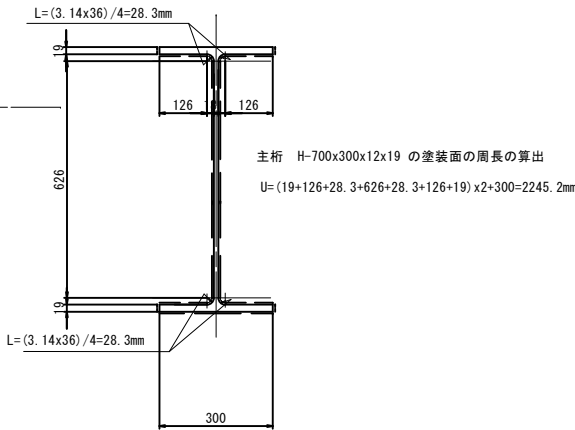
工事名	林道池の平線改良工事 (金石橋)		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	金石橋橋梁補修全体一般図		
縮尺	図示	枚数	1 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 橋梁塗装塗替工(1)

桁下平面図 S=1/50(1/100)

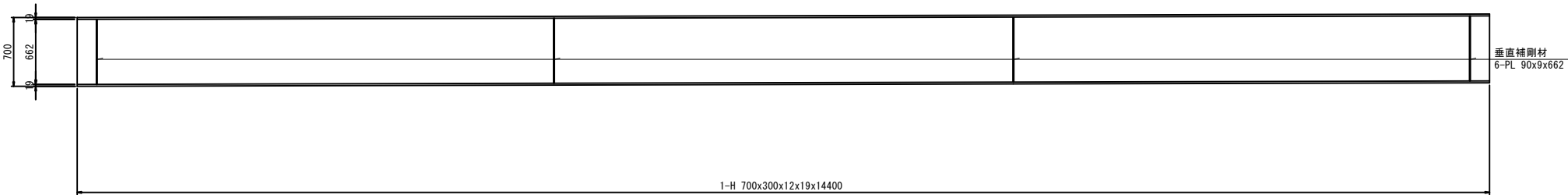


主桁断面 S=1/10(1/20)



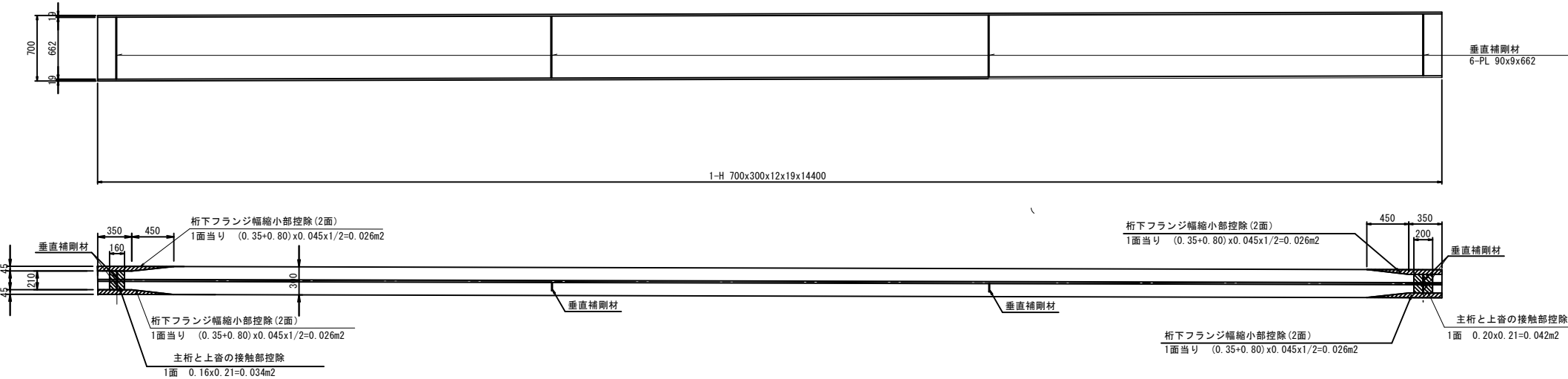
主桁 S=1/30(1/60)

G1



主桁 S=1/30(1/60)

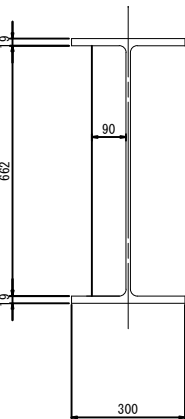
G2



塗装面積 数量表

部材	細別	桁長 m	表面周長 m	面数 面	面積 m2	桁本数 本(箇所)	総面積 m2
主桁	G1主桁 H-700x300x12x19	14.40	2.2452	1	32.331	1	32.331
	G2主桁 H-700x300x12x19	14.40	2.2452	1	32.331	1	32.331
				小計			64.662
	細別	幅 m	高さ m	面数 面	枚数 枚		面積 m2
	補剛材	0.09	0.662	2	12		1.430
			主桁合計（控除前）				66.092
	主桁端部板幅縮小部控除	(0.35+0.80)x0.045x1/2		2	0.052	(8)	-0.416
	主桁と上蓋の接触部控除	0.160	0.21	1	0.034	(2)	-0.068
	主桁と上蓋の接触部控除	0.200	0.21	1	0.042	(2)	-0.084
	主桁控除面積合計					-0.568	
	主桁塗装面積合計 (66.092-0.568)					65.524m2	

補剛材断面 S=1/10(1/20)



塗装面積集計

部 位	数 量
主 桁	65.52
端横桁	4.35
横 桁	3.53
支 承	0.50
排水管	0.07
合計	73.97

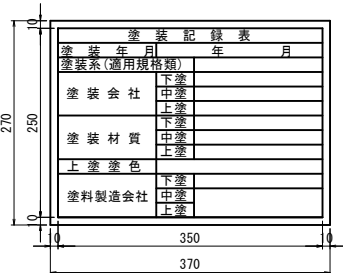
※排水管面積は、排水補修工図面を参照

塗替え塗装工 数量表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
素地調整	1種ケレン(循環式プラスト工法)	m2	73.97	
処分	塗膜カス	kg	36.99	0.5kg/m2
処分	研削材	kg	73.97	1.0kg/m2
防食下地	有機ジンクリッチペイント	m2	73.97	
下塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	m2	73.97	
下塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	m2	73.97	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m2	73.97	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m2	73.97	

1) 塗装色は、監督員と協議を行い、決定すること。

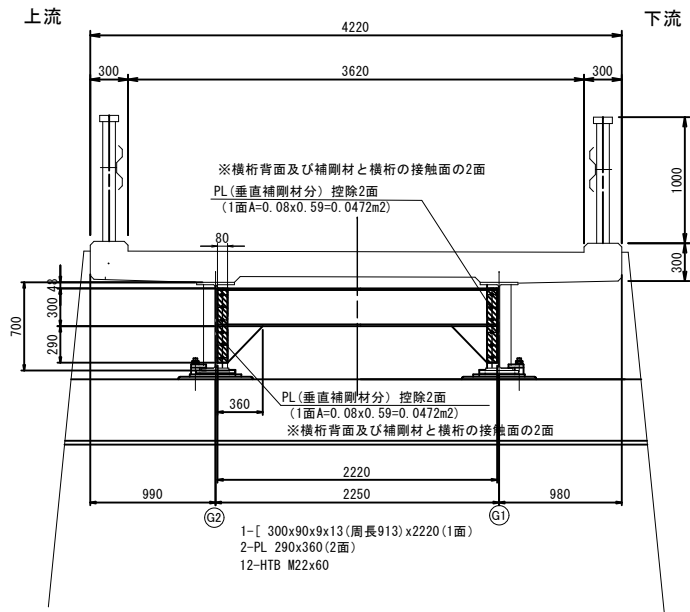
塗装記録表詳細図 S=1/5(1/10)



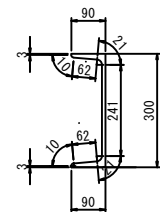
工事名	林道池の平線改良工事(金石橋)		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	橋梁塗装塗替工(1)		
縮 尺	図示	枚 数	2 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 橋梁塗装塗替工(2)

A-A断面図
端横桁断面図 S=1/30(1/60)

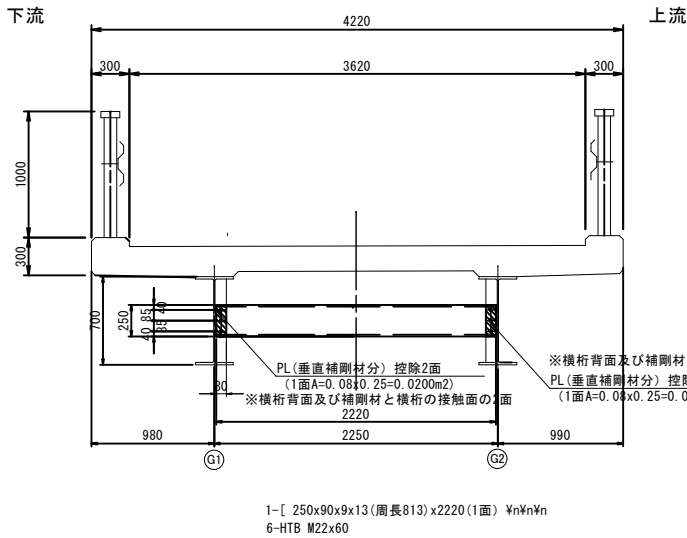


端横桁断面 S=1/10(1/20)

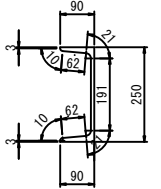


横桁 [-300x90x9x13 の塗装面の周長の算出
U=3+10+62+21+241+21+62+10+3+90+300+90=913mm

B-B断面図
横桁断面図 S=1/30(1/60)



中間横桁断面 S=1/10(1/20)



横桁 [-250x90x9x13 の塗装面の周長の算出
U=3+10+62+21+191+21+62+10+3+90+250+90=813mm

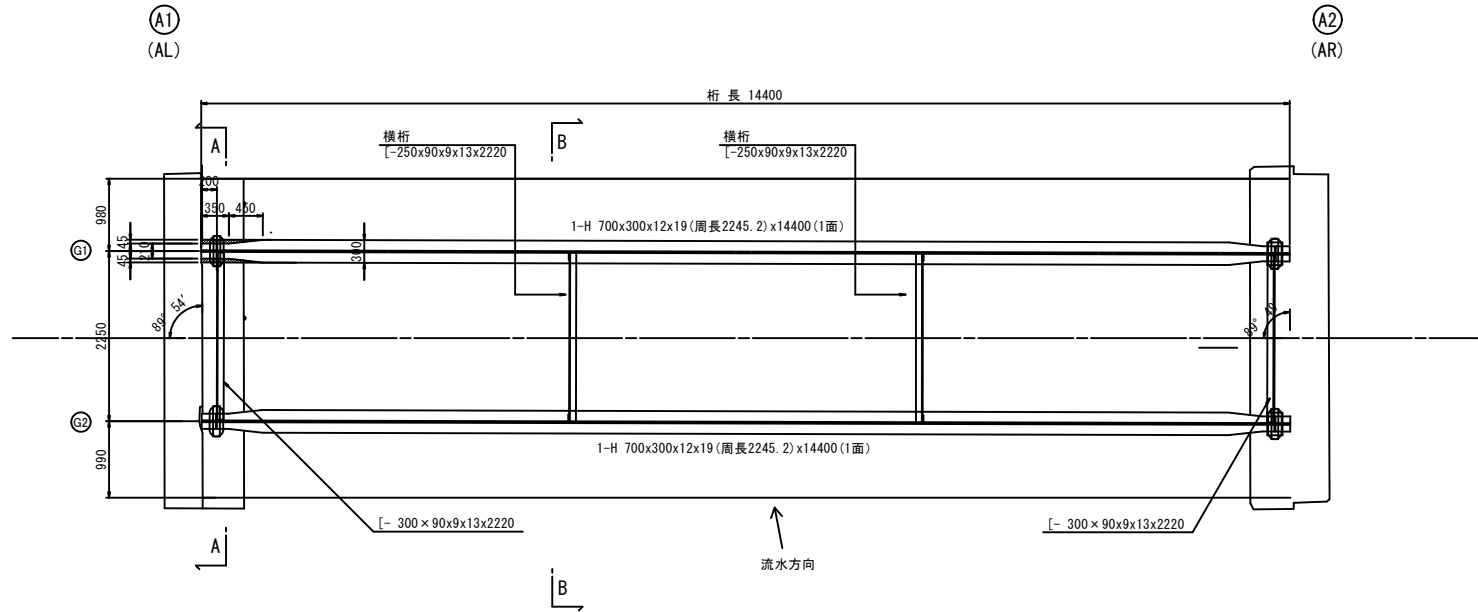
塗装面積 数量表

部材	細別	桁長 m	表面周長 m	面数 面	面積 m ²	桁本数 本	面積 m ²	備 考
端横桁	AL側端横桁[-300x90x9x13	2.22	0.913	1	2.027	1	2.027	
	AR側端横桁[-300x90x9x13	2.22	0.913	1	2.027	1	2.027	
				小計			4.054	
	細別	幅 m	高さ m	面数 面	枚数 枚		面積 m ²	
	端横桁 PL-290x320	0.29	0.36	2	4		0.510	((0.36+0.08)x0.29x1/2)x2x4=0.510
	細別	1000本当り 塗装面積m ²		小計 面	本数 本		面積 m ²	
	HTB M22	6.70/1000		1	24		0.161	6.70/1000(デザインデータブックP100より)
				端横桁合計(控除前)			4.725	
	横桁と補剛材の接触部控除	0.080	0.590	2	4		-0.378	
				端横桁控除面積合計			-0.378	
								横桁塗装面積合計(4.725-0.378)
							4.347m ²	

塗装面積 数量表

部材	細別	桁長 m	表面周長 m	面数 面	面積 m ²	桁本数 本	面積 m ²
横桁	中間横桁[-250x90x9x13	2.22	0.813	1	1.805	2	3.610
				小計			3.610
	細別	1000本当り 塗装面積m ²		小計 面	本数 本		面積 m ²
	HTB M22	6.70/1000		1	12		0.080
				横桁合計(控除前)			3.690
	横桁と補剛材の接触部控除	0.080	0.250	2	4		-0.160
				横桁控除面積合計			-0.160
							横桁塗装面積合計(3.690-0.160)
							3.530m ²

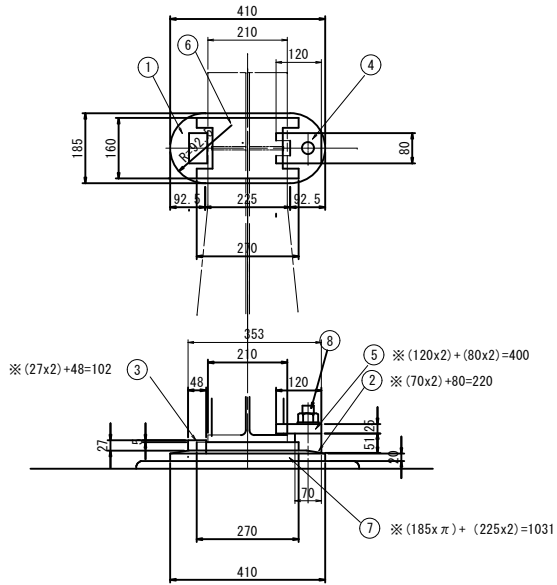
桁下平面図 S=1/50(1/100)



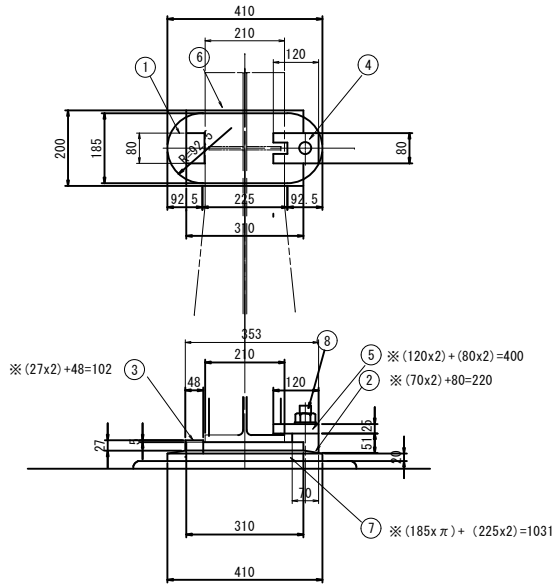
工事名	林道池の平線改良工事(金石橋)		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	橋梁塗装塗替工(2)		
縮 尺	図 示	枚 数	3 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 橋梁塗装塗替工(3)

AL支承(可動) 構造図 S=1/10(1/20)



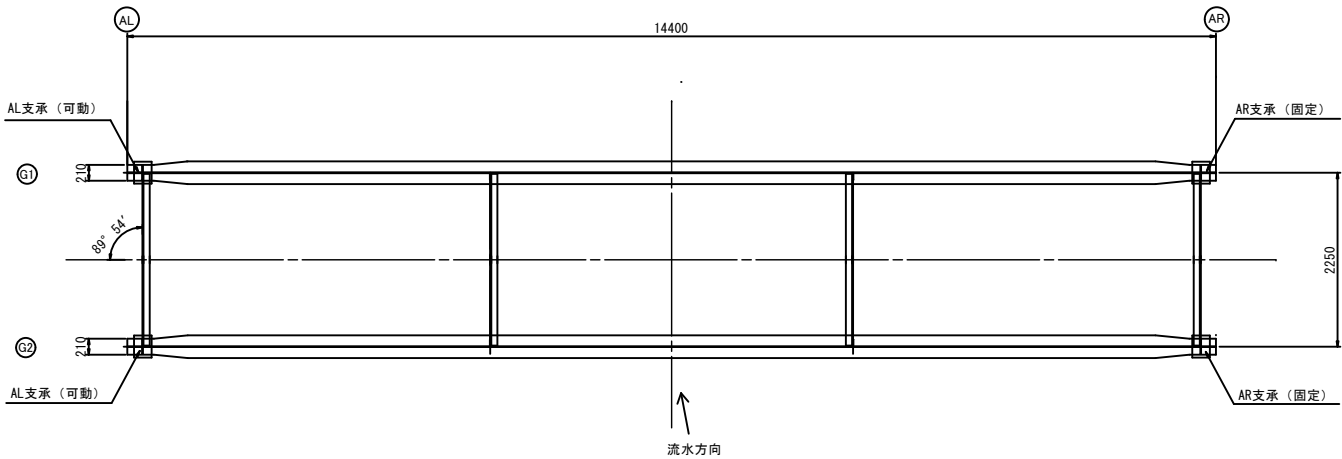
AR支承(固定) 構造図 S=1/10(1/20)



支承本体塗装面積 数量表

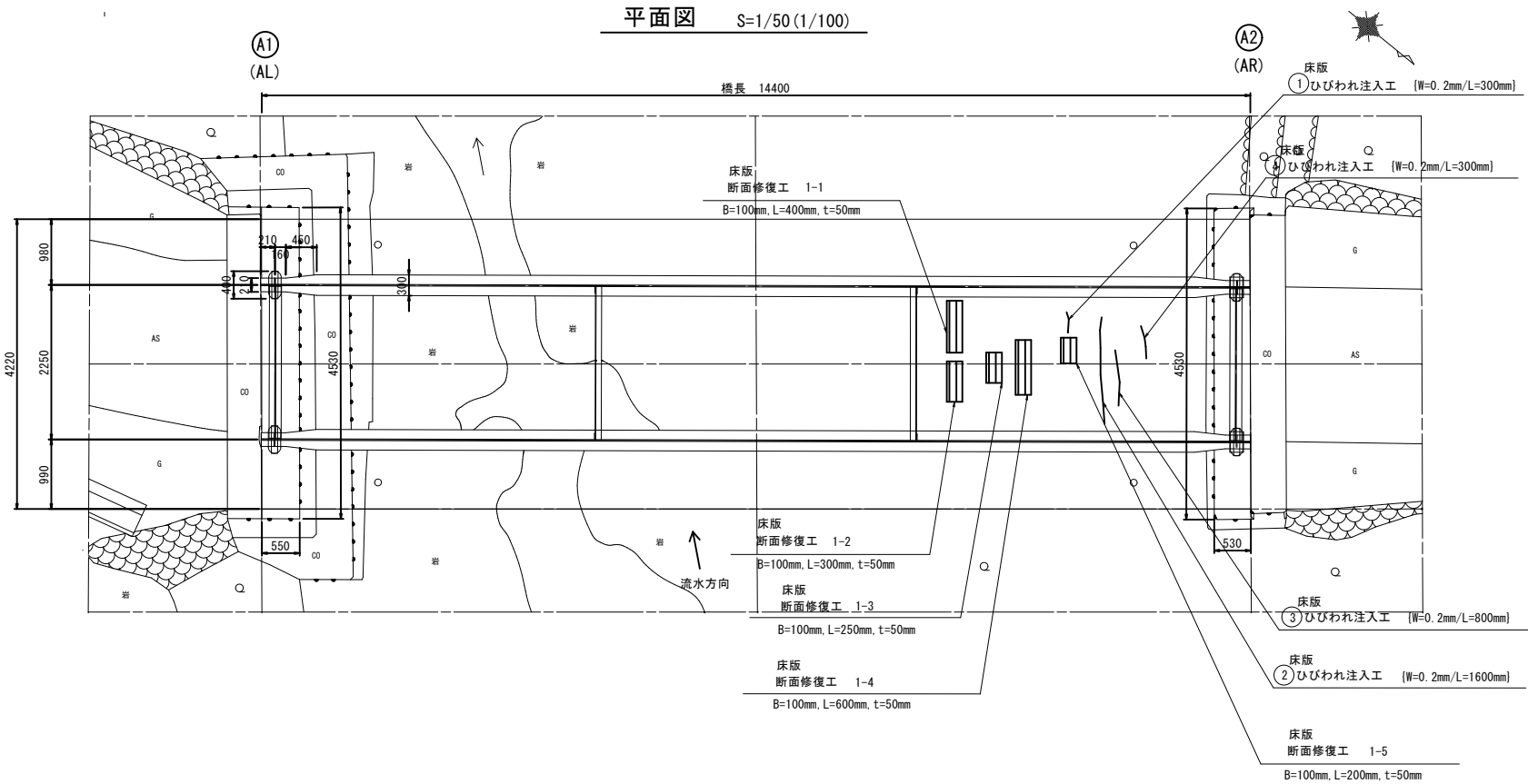
番号	支承本体箇所	寸法	算 式	m2/個	個数	塗装面積 (m2)	備考
①	AR支承下咨(固定咨)	410×185	$\{ (0.185^2 \times \pi / 4) + (0.225 \times 0.185) \} - (0.08 \times 0.353)$	0.0403	2	0.081	
②	AR支承下咨ストッパー側面	51×220	0.051×0.220	0.011	2	0.022	
③	AR支承下咨ストッパー側面	75×80	0.102×0.080	0.008	2	0.016	
④	AR支承ピンチプレート	80×120	0.080×0.120	0.010	2	0.020	
⑤	AR支承ピンチプレート側面	25×400	0.025×0.400	0.010	2	0.020	
⑥	AR支承上咨(固定咨)	310×200	$(0.310 \times 0.200) - (0.200 \times 0.210)$	0.020	2	0.040	
⑦	AR支承下咨側面	20×1031	0.020×1.031	0.021	2	0.042	
⑧	AR支承アンカーボルトナット	M30	9.42m2/1000	0.0094	2	0.019	9.42m2/1000(デザインデータブックP115より)
AR支承 計						0.260	
①	AL支承下咨(可動咨)	410×185	$\{ (0.185^2 \times \pi / 4) + (0.225 \times 0.185) \} - (0.08 \times 0.353)$	0.0403	2	0.081	
②	AL支承下咨ストッパー側面	51×220	0.051×0.220	0.011	2	0.022	
③	AL支承下咨ストッパー側面	75×80	0.102×0.080	0.008	2	0.016	
④	AL支承ピンチプレート	80×120	0.080×0.120	0.010	2	0.020	
⑤	AL支承ピンチプレート側面	25×400	0.025×0.400	0.010	2	0.020	
⑥	AL支承上咨(可動咨)	270×160	$(0.270 \times 0.160) - (0.160 \times 0.210)$	0.010	2	0.020	
⑦	AL支承下咨側面	20×1031	0.020×1.031	0.021	2	0.042	
⑧	AL支承アンカーボルトナット	M30	9.42m2/1000	0.0094	2	0.019	9.42m2/1000(デザインデータブックP115より)
AL支承 計						0.240	
支 承 合 計						0.500	

平面図 S=1/50(1/100)



工事名	林道池の平線改良工事(金石橋)		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	橋梁塗装塗替工(3)		
縮 尺	図 示	枚 数	4 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 断面修復工、ひびわれ補修工



ひびわれ注入詳細図

対象ひびわれ幅：0.2mm以上～1.0mm未満



※メーカーヒアリングにより、シーリング材の幅は3cm、厚さは2mmと推定した。

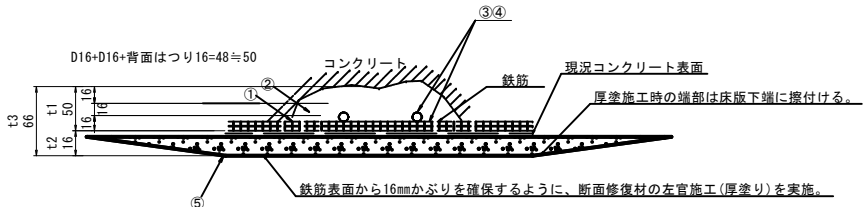
ひびわれ (エポキシ樹脂系注入材充填)

注) 注入間隔：200～400mm程度
注入材粘度：1000cp以下
注入時圧力：0.2～0.5N/mm²

床版部 床版ひびわれ注入集計表

	位置	部位	長さL (mm)	深さt (mm)	幅w (mm)	注入量 (cm ³) (長さ×深さ×幅)	注入器具本数 (本) (200～400mmにつき1本)
第一 径 間	①	床版下面	300	50	0.20	3.0	2
	②	"	1600	50	0.20	16.0	8
	③	"	800	50	0.20	8.0	4
	④	"	300	50	0.20	3.0	2
合計			3000			30.0	16

断面修復詳細図



※t1：鉄筋裏の防錆処理を行うスペースを確保するため鉄筋表面より50mmのはつりを行うこととする。
t2：ケレン後はかぶり厚確保のため、鉄筋表面から16mm以上補修材の施工（厚塗り含む）する。
t3：各補修面所でt1とt2の小計が66mm以上となるに施工を行うこと。

断面修復工施工手順

施工フロー(防錆処理を含む)

行 種	仕 様	標準使用量 (塗布回数等)
①カッター工	コンクリートカッター	カッター目地 t=10mm程度
②はつり工	コンクリートはつり	
③錆除去工	電動ワイヤーブラシ	
④防錆処理工		
⑤断面修復工	PAE系ポリマーセメント	

・剥離及び浮上コンクリートは完全に取り除くこと。

ひびわれ注入工

名 称	規 格	算 式	単 位	1橋当り 数 量
ひびわれ注入			m	3.000
注入材設計量	クランク`ンド` (1.14g/cm ³)	1.14×30.0	g	34.200
注入材使用量	ロス率15%	34.20×1.15/1000	kg	0.039
シーリング材設計量	ホ`ント`トップ`タイツク (625cm ³ /kg)	300×5×0.02/625	kg	0.048
シーリング材使用量	ロス率37%	0.048×1.37	kg	0.066
注入器具本数	DDインジェクター		本	16

※上記材料同等品以上を用いること

断面修復工(防錆処理有) 数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
左官工法	防錆処理有	m ³	0.012	
断面修復材	PAE系ポリマーセメントモルタル 0.009+0.016x0.175=0.012	m ³	0.012	マグネラインMDライト同等品以上
はつり		m ³	0.009	
殺処分		m ³	0.009	

床版部 断面修復・はつり集計表

位置	部位	幅 B (mm)	長さ L (mm)	厚さ t (mm)	はつり面積 BxL (m ²)	断面修復 BxLxt (m ³)	
1-1	床版下面	100	400	50	0.040	0.0020	鉄筋露出
1-2	"	100	300	50	0.030	0.0015	"
1-3	"	100	250	50	0.025	0.0013	"
1-4	"	100	600	50	0.060	0.0030	"
1-5	"	100	200	50	0.020	0.0010	"
合 計					0.175	0.0088	

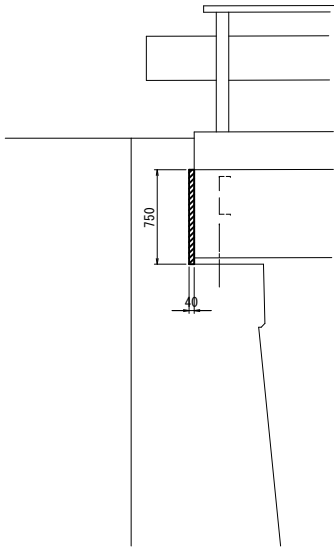
工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	断面修復工・ひびわれ補修工		
縮 尺	図 示	枚 数	5 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 胸壁補修工

AL橋台正面図 S=1/30 (1/60)

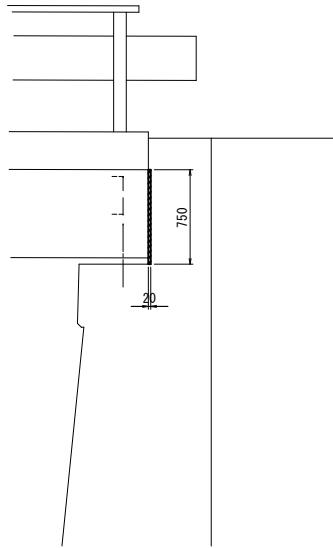
側面図 S=1/30 (1/60)

A-A断面



側面図 S=1/30 (1/60)

B-B断面

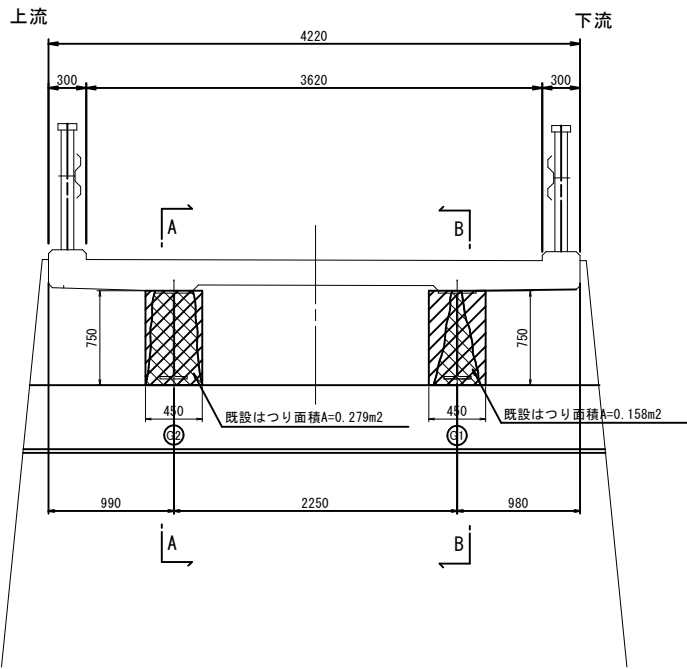


凡例

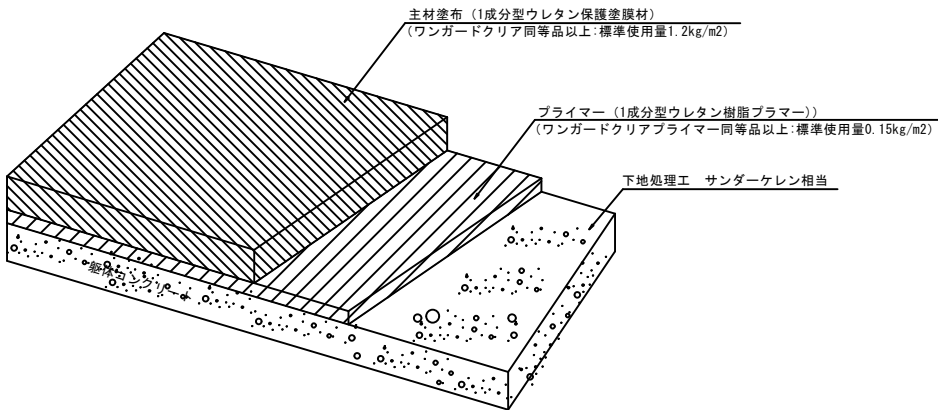
胸壁補修範囲：



損傷範囲：



胸壁補修工仕様詳細図(参考)



胸壁補修工 数量表

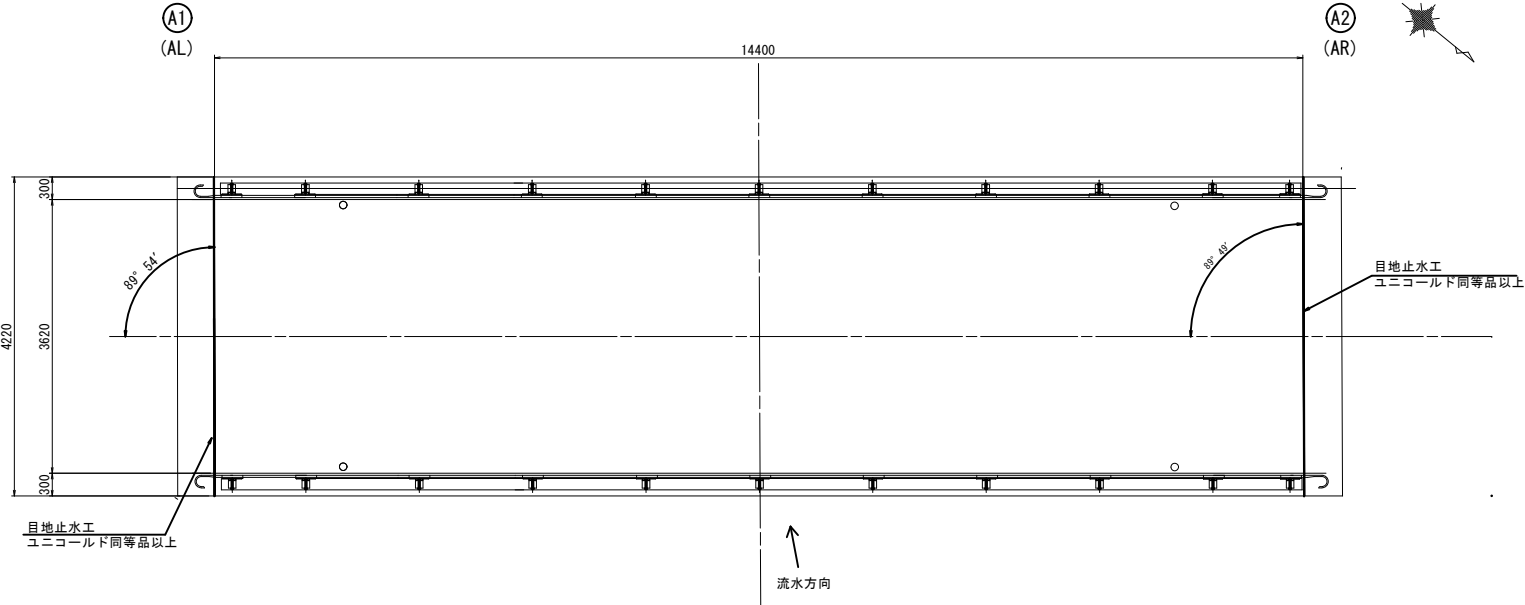
1式当り

工 程	規 格	算 式	単 位	数 量	摘 要
はつり	上流側 t=40 下流側 t=20	$\{(0.75 \times 0.45) - 0.279\} \times 0.04 + \{(0.75 \times 0.45) - 0.158\} \times 0.02$	m3	0.006	
下地処理	サンダーケレン相当	$\{(0.75 \times 0.45) + (0.75 + 0.45) \times 2 \times 0.04\} + \{(0.75 \times 0.45) + (0.75 + 0.45) \times 2 \times 0.02\}$	m2	0.819	
プライマー工	1成分型ウレタン樹脂プライマー	$\{(0.75 \times 0.45) + (0.75 + 0.45) \times 2 \times 0.04\} + \{(0.75 \times 0.45) + (0.75 + 0.45) \times 2 \times 0.02\}$	m2	0.819	
	1成分型ウレタン樹脂プライマー 使用量	0.819x0.15	kg	0.123	0.15kg/m2
主材工	1成分型ウレタン保護塗膜材	$\{(0.75 \times 0.45) + (0.75 + 0.45) \times 2 \times 0.04\} + \{(0.75 \times 0.45) + (0.75 + 0.45) \times 2 \times 0.02\}$	m2	0.819	
	1成分型ウレタン保護塗膜材 使用量	0.819x1.2	kg	0.983	1.2kg/m2

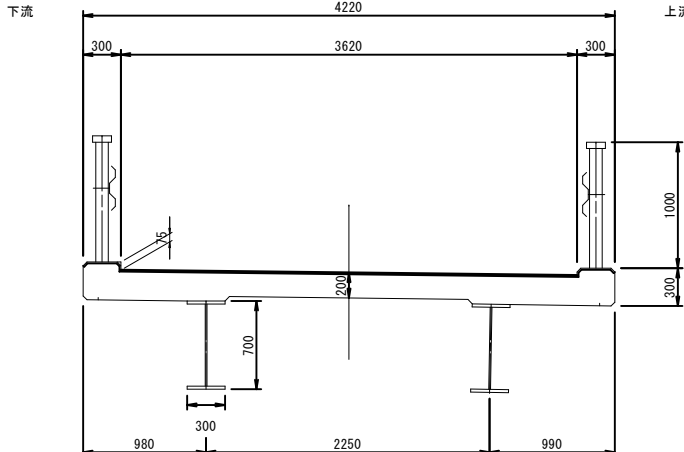
※1. はつり範囲は、施工時に損傷部の現地計測を実施し、必要に応じて対象範囲を調整すること。
※2. 下地処理によるサンダーケレンは、接着性を阻害する要因を除去する目的で実施し、補修材塗布部は平滑面を確保すること。
※3. 胸壁補修工の施工面は、接着阻害要因であるレイタンス(粉塵)及び油脂分等を十分除去した後、施工すること。

工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	胸壁補修工		
縮 尺	図 示	枚 数	<div>6 12</div>
甲府市産業部農林振興室林政課			

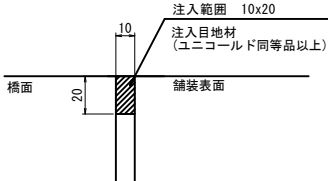
金石橋 伸縮裝置取替工

橋面平面圖 $S=1/50(1/100)$ 

上部工断面図 S=1/50 (1/100)



目地止水工詳細図 S=1/2(1/4)



伸縮裝置取替工 数量表

項 目	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要
注入目地材	ユニコード同等品以上	$\{3.62 \times (0.075 + 0.300) \times 2\} \times 2 = 8.74$	m	8.74	
	注入使用量(割り増し率1.3)	$8.74 \times 0.2 \times 1.3 = 2.27$	kg	2.27	0.2kg/m

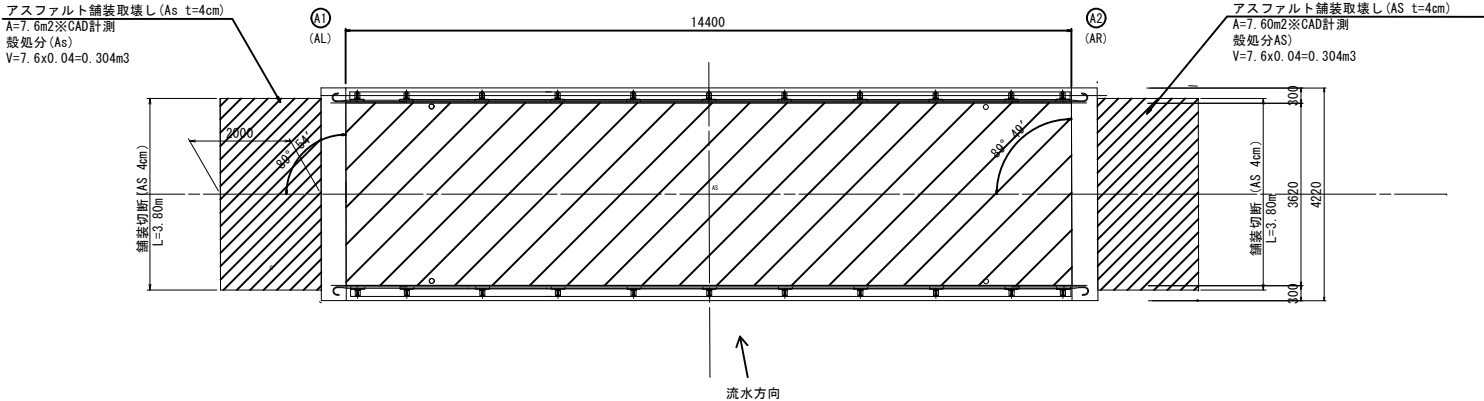
- 1) 施工時は、現地寸法を確認すること。
- 2) 補修範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。
寸法の変更がある場合は、監督員と協議を行うこと。

1式当り

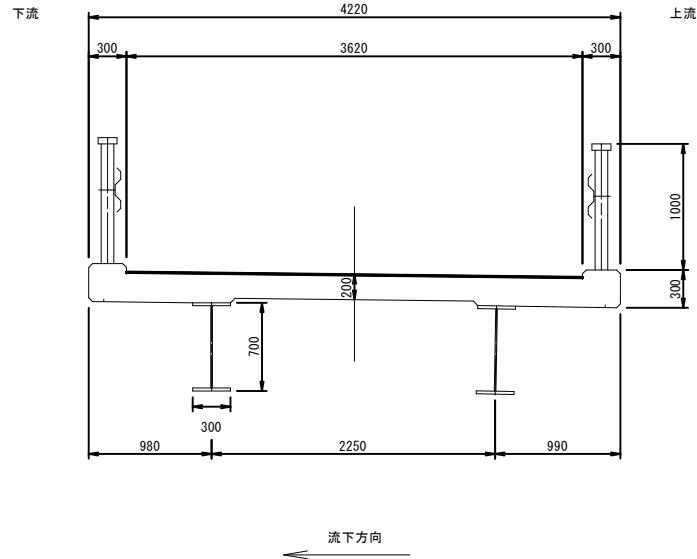
工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	伸縮装置取替工		
縮 尺	図示	枚 数	7 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 橋面防水工

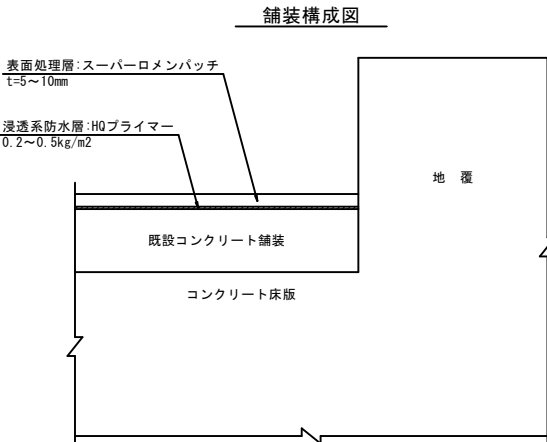
平面图 $S=1/75(1/150$



上部工断面図 S=1/50 (1/100)

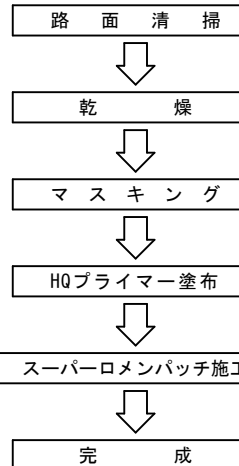


スロメDN工法詳細図 S=1/3(1/6)



橋面防水工施工手冊

施工フロー



橋面防水工 数量表

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要
橋面保護工	スロメDN工法同等以上	14.40×3.62	m2	52.13	

- 1) 施工時は、現地寸法を確認すること。
- 2) 補修範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。
寸法の変更がある場合は、監督員と協議を行うこと。

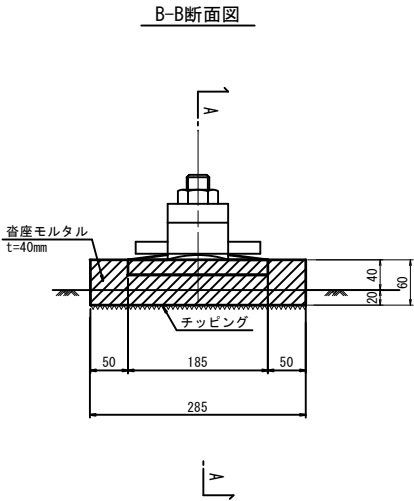
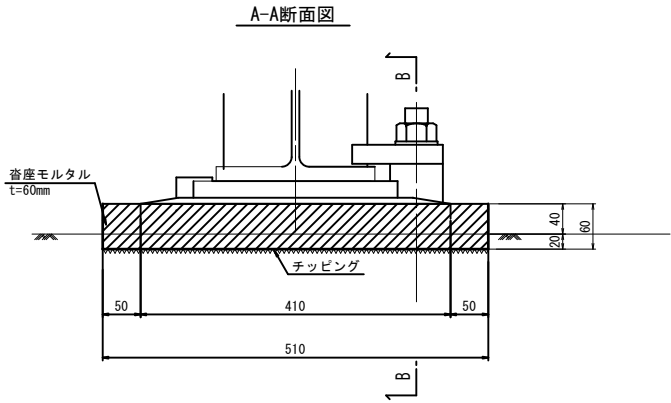
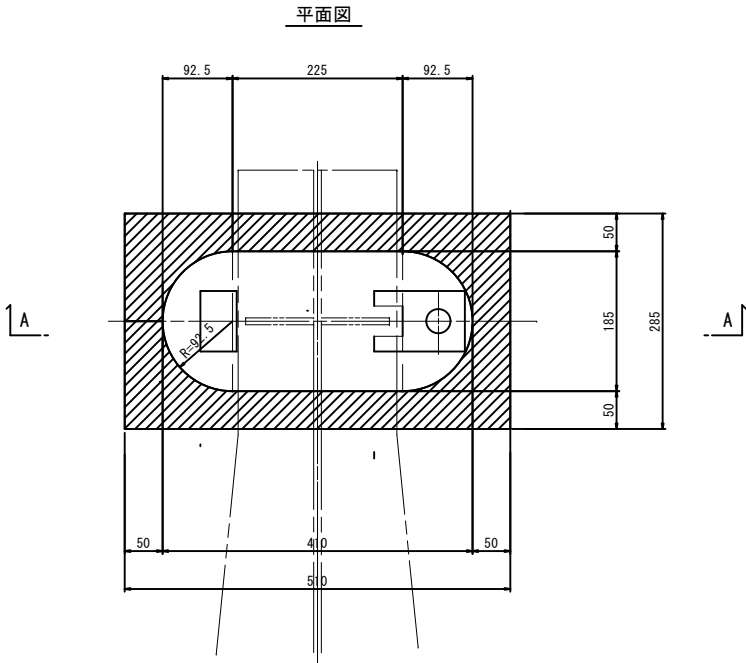
アプローチ舗装工数量表

名 称	規 格	算 式	単 位	数 量	摘 要
アスファルト舗装取壊し（アプローチ部）	As t=4cm	$(7.6+7.6) \times 0.04$	m ³	0.61	
舗装切断	As t=4cm	3.80+3.80	m	7.6	
設置搬処理	As	$(7.6+7.6) \times 0.04$	m ³	0.61	
舗装打換え（表層工）	As t=4cm	$(7.6+7.6)$	m ²	15.20	
舗装打換え（不陸整正）		$(7.6+7.6)$	m ²	15.20	

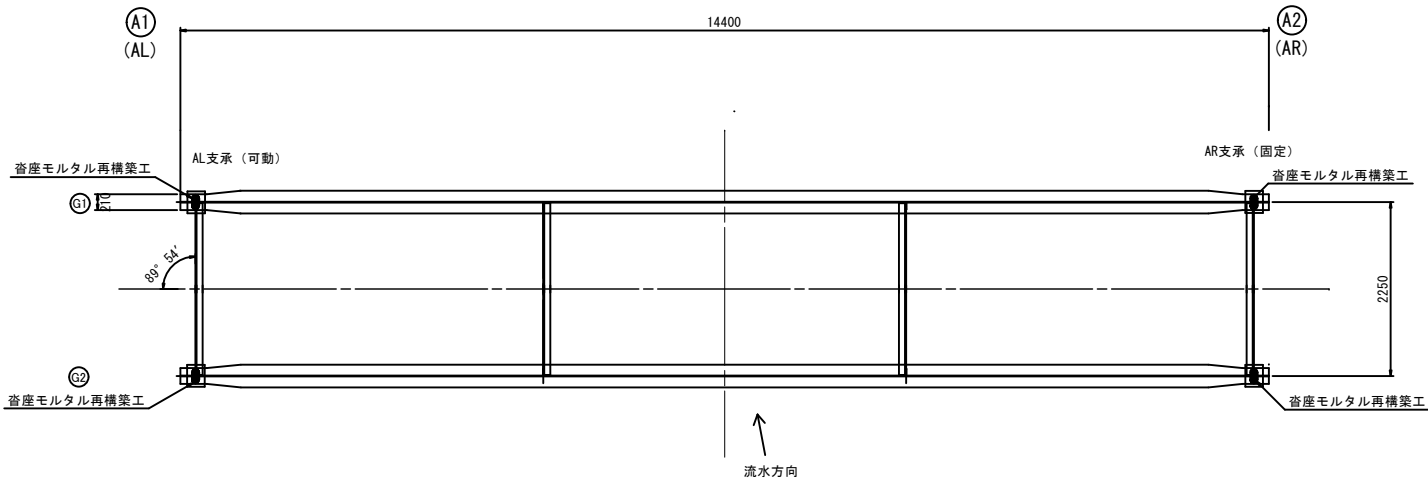
工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	橋面防水工		
縮尺	図示	枚数	8 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 沓座モルタル再構築工

沓座モルタル詳細図 S=1/5(1/10)
箇所数：4



位置図 S=1/50(1/100)



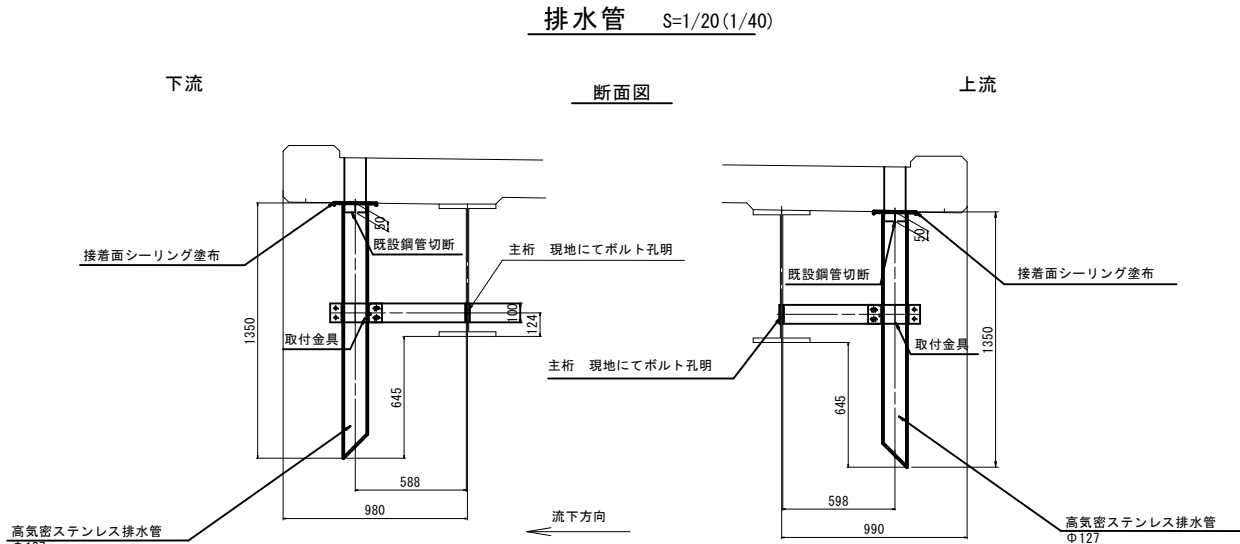
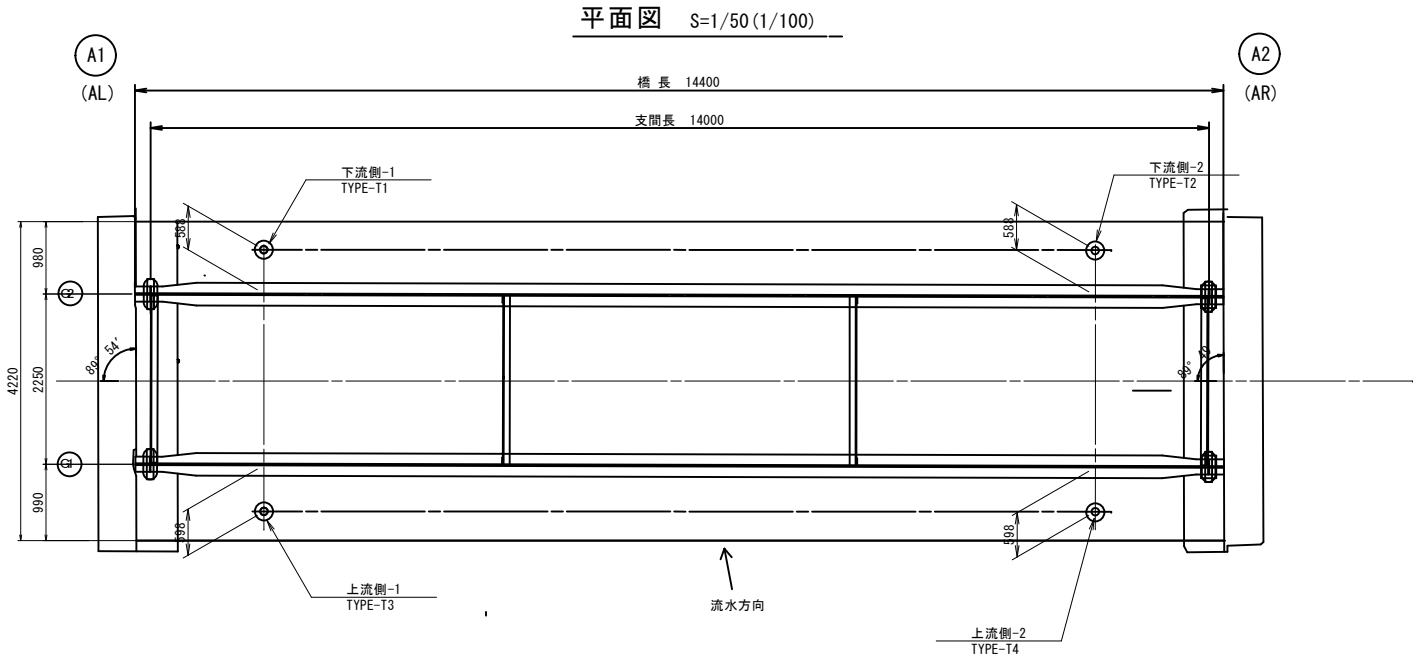
沓座モルタル再構築工 数量表 1式当り

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要
無収縮モルタル		$[0.51 \times 0.285 - (0.225 \times 0.185 + 0.185^2 \times \pi / 4)] \times 0.060 \times 4$	m ³	0.0184	
型枠	小型構造物	$(0.51 + 0.285) \times 2 \times 0.040 \times 4$	m ²	0.254	
チップング	10～20mm	$[0.51 \times 0.285 - (0.225 \times 0.185 + 0.185^2 \times \pi / 4)] \times 4$	m ²	0.307	

1) 施工時は、現地寸法を確認すること。

工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	沓座モルタル再構築工		
縮 尺	図 示	枚 数	9 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

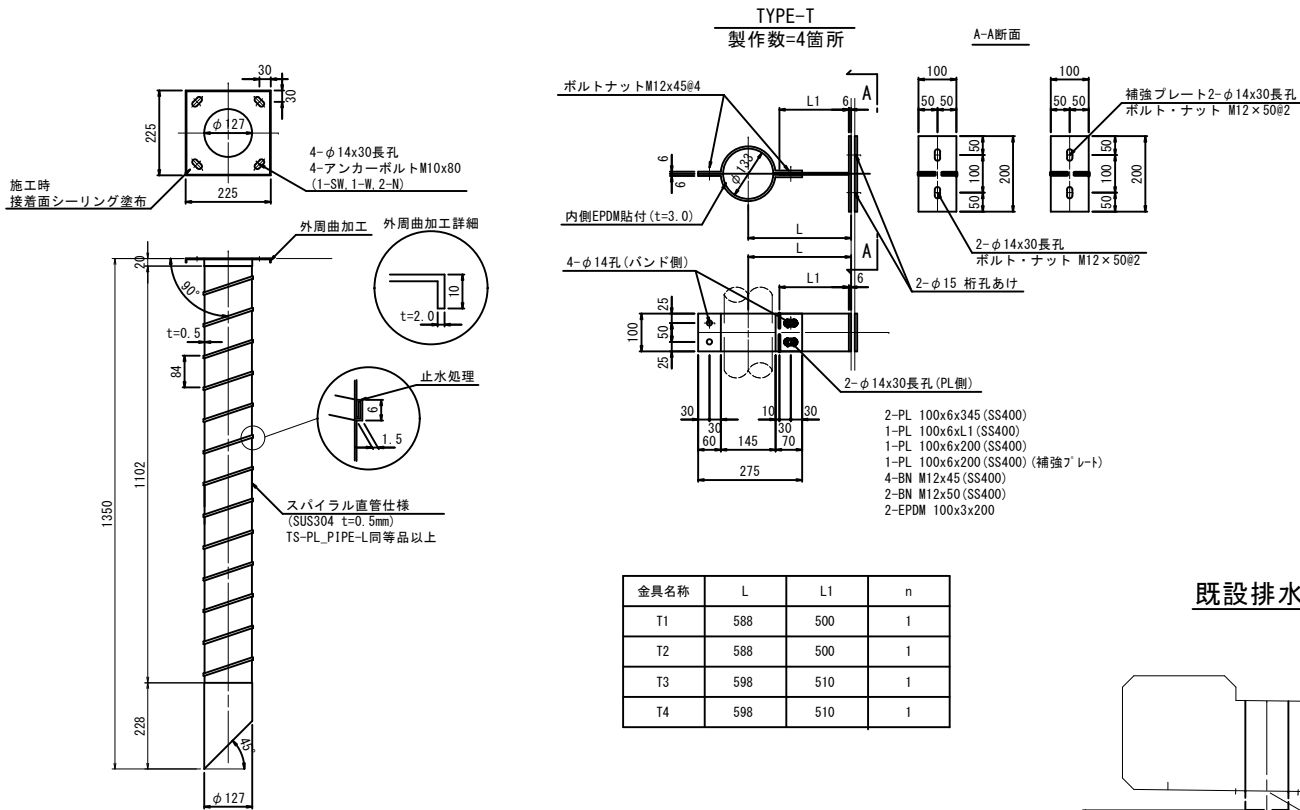
金石橋 排水管補修工



※既設排水管の切断は、現地排水管腐食範囲を確認した上で切断すること。
また、切断後に残った既設排水管は塗替え塗装工により補修し、排水管補修を行うこと。

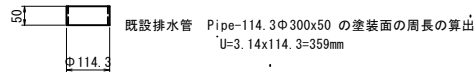
排水管詳細図 S=1/10 (1/20)

取付金具詳細図 S=1/10 (1/20)



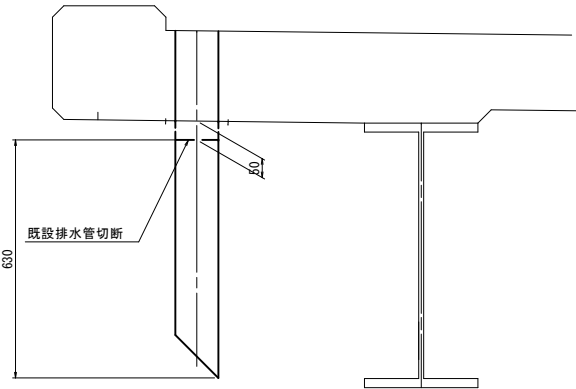
※ 天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L同等品以上
製作数=4 (NETIS No. CB-190003-AIに準ずる)

既設排水管断面 S=1/10 (1/20)



既設排水管塗装面積 数量表							
部材	細別	長さ m	表面周長 m	面数 面	面積 m2	排水管本数 本	面積 m2
既設排水管	Φ114.3	0.05	0.359	1	0.018	4	0.072
既設排水管塗装面積合計							0.072

既設排水管撤去工 S=1/10 (1/20)



既設排水管撤去重量 数量表

部材	細別	長さ m	単位重量 kg/m	1本当り重量 kg	排水管本数 本	重量 kg
既設排水管	Φ114.3	0.630	12.2	7.69	4	30.76

既設排水管切断長 数量表

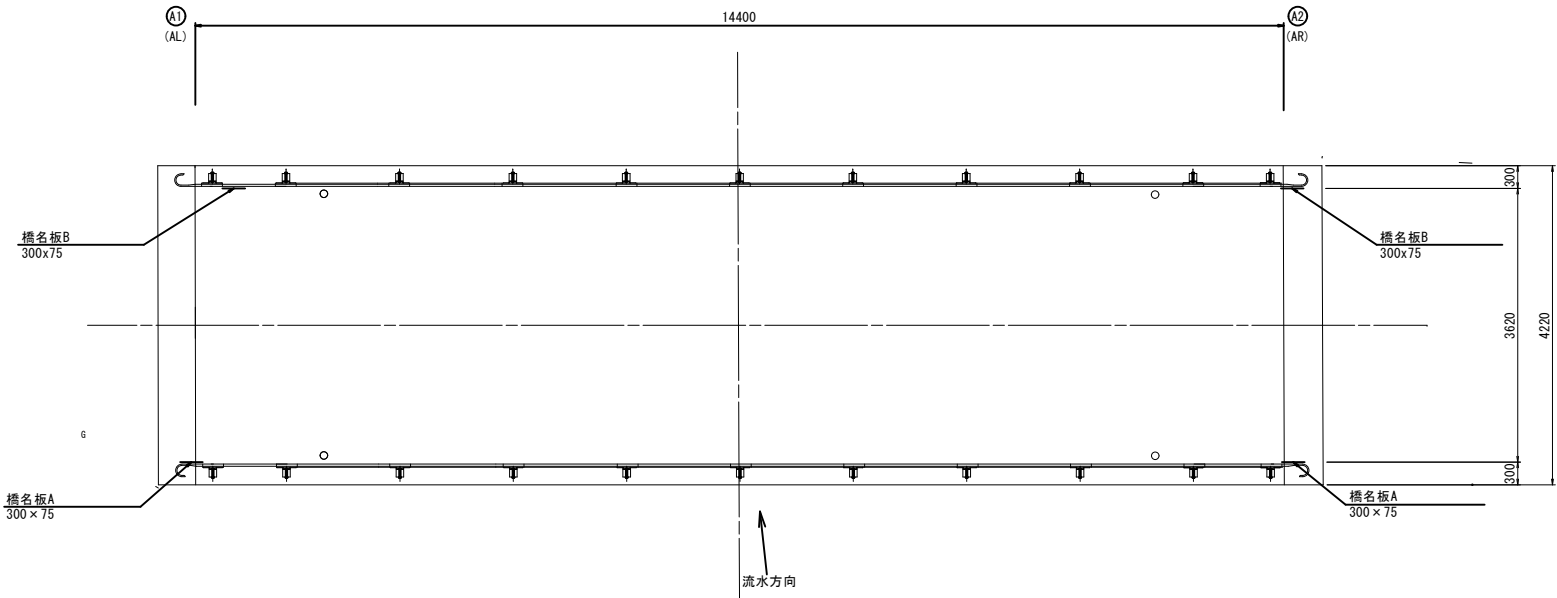
部材	細別	長さ m	表面周長 m	1本当り切断長 m	排水管本数 本	切断長 m
既設排水管	Φ114.3	0.630	0.359	0.359	4	1.44

注 1. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
2. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
3. SS400は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641 2種 HDZ55) 仕上げを行う。
但し、ボルト類はHDZ35とする。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

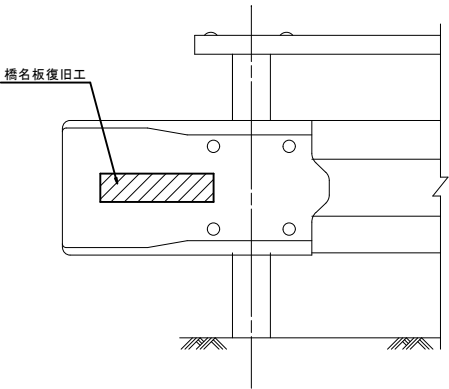
工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	排水管補修工		
縮尺	図示	枚数	10 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

金石橋 橋名板設置工

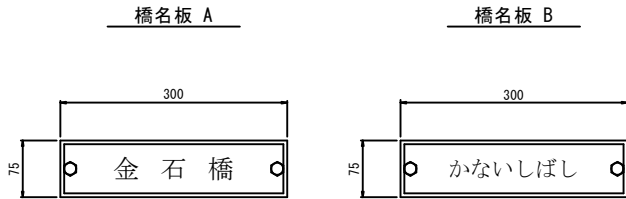
平面図 S=1:75 (1:150)



正面図 S=1/10 (1/20)



橋名板詳細図 S=1/5 (1/10)



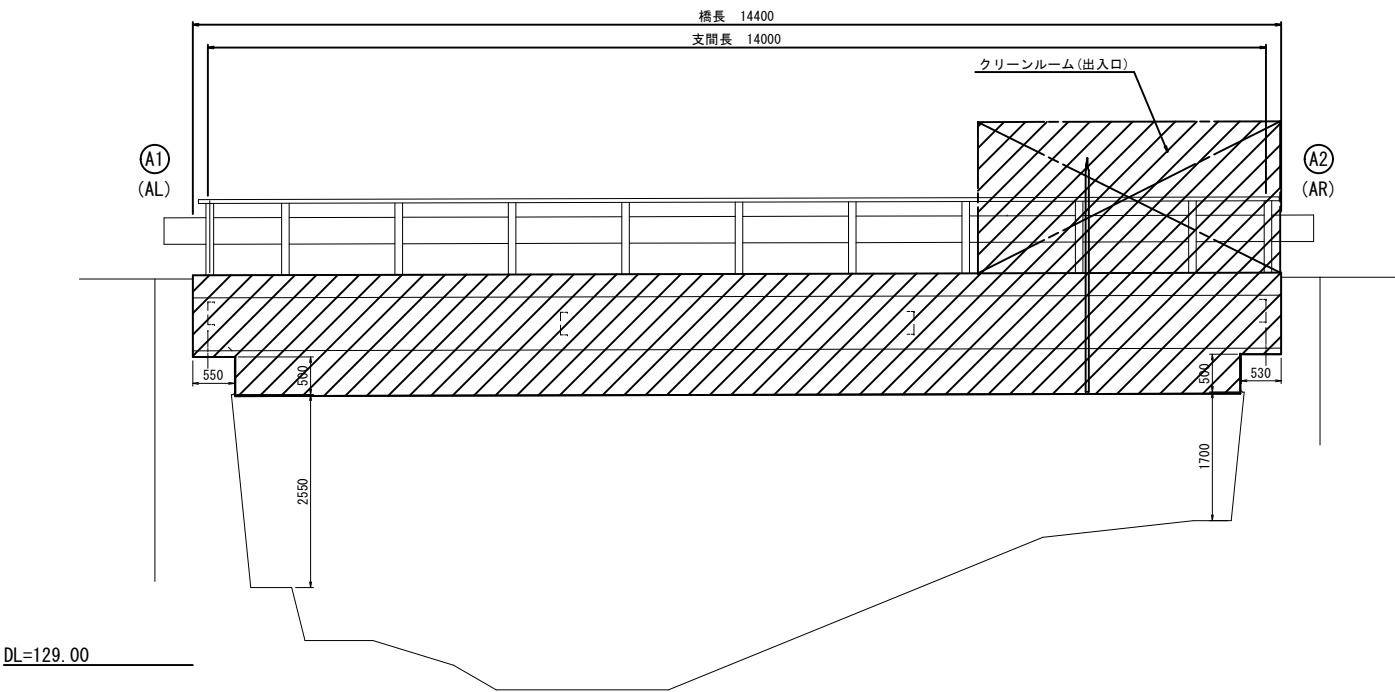
橋名板復旧工 数量表					1式当り
名 称	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要
橋名板A	300×75		枚	2	
橋名板B	300×75		枚	2	

1) 施工時は、現地にて寸法計測を実施し、状況確認を行うこと。

工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	橋名板設置工		
縮 尺	図 示	枚 数	11 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			

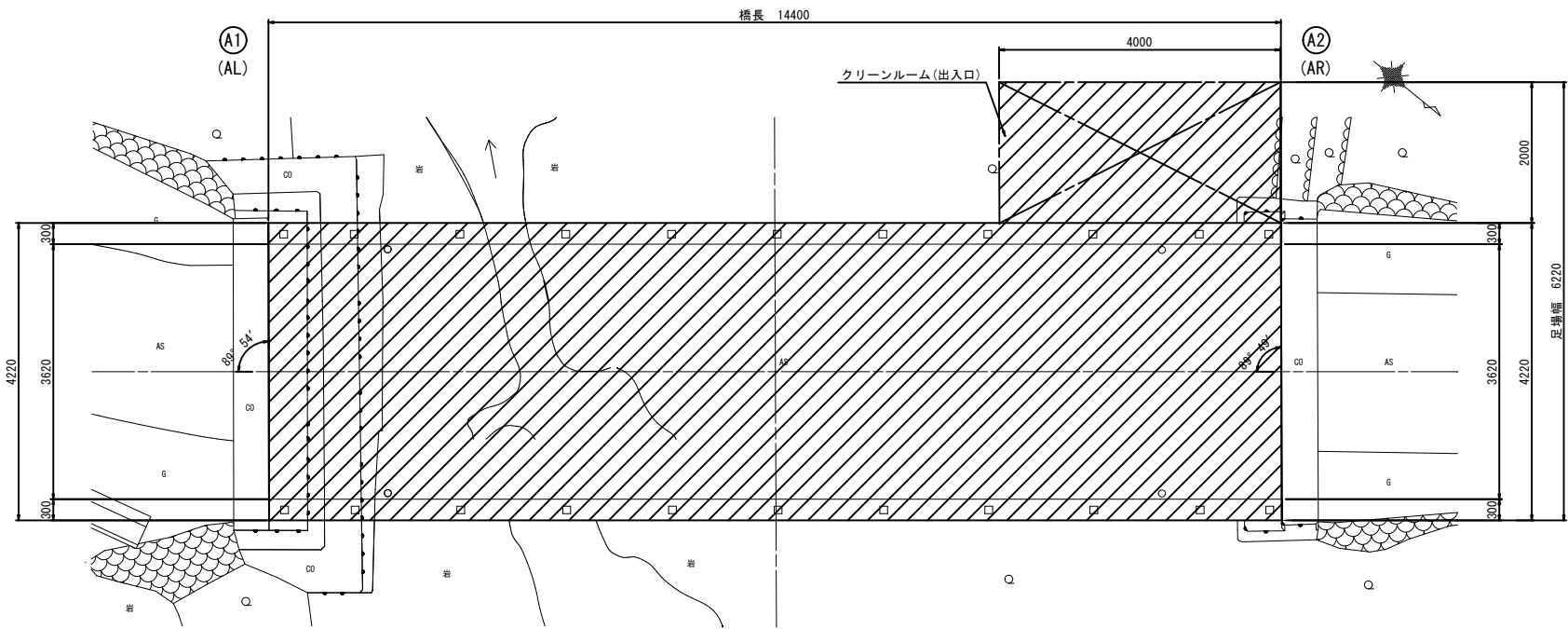
金石橋 仮設工（参考）

仮設側面図 S=1/50 (1/100)

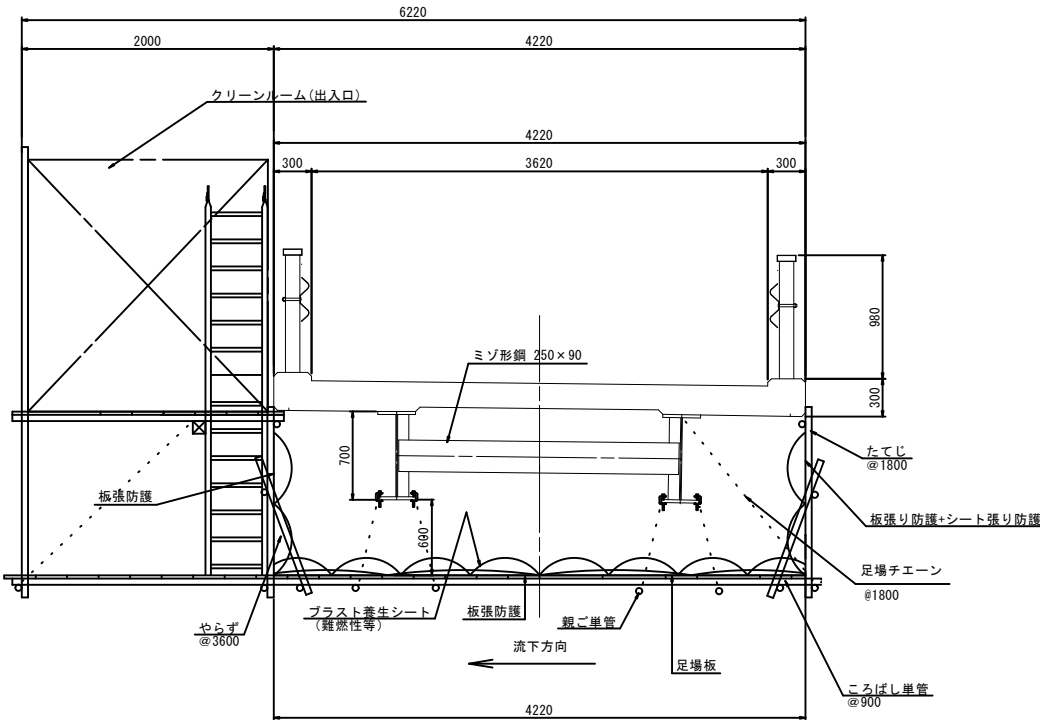


DL=129.00

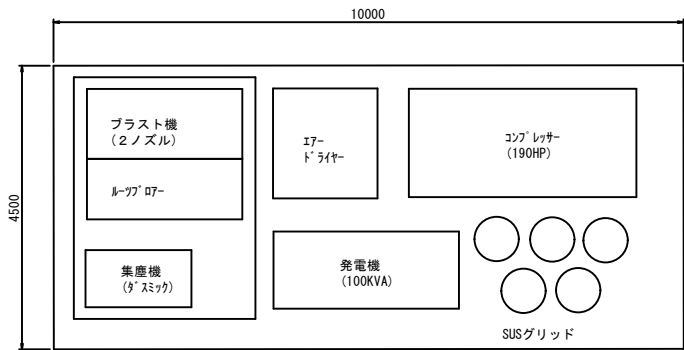
平面図 S=1/50 (1/100)



参考断面図 S=1/30 (1/60)



プラントヤード参考図 S=1/60 (1/20)



最大機材高さ：3000mm

仮設工 数量表

工 種	単位	算 式	数 量	備 考
吊足場	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	
朝顔	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	
板張り防護	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	
板張り防護(床面)	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	
シート張り防護	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	
シート張り防護(床面)	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	
プラスト養生シート	m ²	14.40x4.22+4.00x2.00	68.77	

凡 例

記 号	適 用
	吊足場
	クリーンルーム

注記
・本橋梁の図面は、簡易な現地計測に基づき作成したものである。
・竣工に際しては、現地測量により計上寸法を確認後、必要に応じて変更等の見直しを行い、監督員と協議すること。

工事名	林道池の平線改良工事（金石橋）		
路線名	市営林道池の平線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	仮設工（参考図）		
縮 尺	図 示	枚 数	12 / 12
甲府市産業部農林振興室林政課			